12月の消防広報重点事項

発行 令和5年11月9日

盛岡市危機管理防災課

|編集 盛岡中央消防署

暖房機器の取扱いに注意しましょう!!

季節が秋から冬へと移り変わり、暖房機器を使用する機会が増えてきます。寒い冬を乗り切るためには必要不可欠な暖房機器ですが、取扱方法を誤ると火災や重大な事故を引き起こす原因となります。

暖房機器を正しく使用し、寒い冬を安全に過ごしましょう。

- 石油暖房機・・・石油ストーブ、石油ファンヒーター
- ガス暖房機・・・ガスストーブ、ガスファンヒーター
- 電気暖房機・・・電気ストーブ、カーボンヒーター、ハロゲンヒーター

~暖房機器を安全に正しく使うポイント~

- ① 定期的に点検を行いましょう。
 - 暖房機器には寿命がありますので、定期的に点検しましょう。

FF 式や半密閉式の暖房機は、本体と給排気筒が正しく設置されていないと、運転中に排気が室内に漏れて大変危険ですので定期的に点検するほか、給排気筒トップの周りが雪などで塞がれている場合は、必ず取り除いてから使用してください。

- ② 電源プラグやコードが傷んでいたら使用しないでください。
 - 断線などで電気配線が正常に通電できず、負荷がかかり異常に発熱することで火災が発生する可能性があります。
- ③ 給油する際は、給油前に消火、給油後に灯油漏れを確認しましょう。
 - 石油暖房機は、消火せずに給油すると火災の発生するおそれがありますので、火が消え たことを確認してから給油しましょう。
 - 給油後は、カートリッジタンクの口金を確実に締め、口金を下にして灯油漏れがないか 確認し、石油暖房機にセットしましょう。
- ④ 不良灯油は使用しないでください。
 - 変質灯油(昨シーズン以前の灯油や日光の当たる場所で長期保管したもの)、不純灯油(灯油以外の油、水、ごみが混入した灯油など)は、異常燃焼や機器が故障するおそれがありますので使用しないでください。
- ⑤ 燃料用のガソリンや混合油は絶対に使用しないでください。
- ⑥ 石油及びガス暖房機を使用する際は、1時間に1~2回換気を行いましょう。
 - 一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。
- ⑦ スプレー缶を暖房機器の上や温風のあたる場所に置かないでください。
 - 熱で缶の圧力が上がり、爆発するおそれがあります。
- 窓 暖房機器の周囲で衣類などの乾燥はやめましょう。
 - 暖房機器の周囲で衣類などを乾燥させると、接触するなど、火災になるおそれがあります。
- ⑨ カーテンや布団、紙類など燃えやすい物のそばで使用しないでください。
 - 燃えやすい物の近くで暖房機器を使用するのはやめましょう。
 - 暖房機器の近くや暖房機器内にマッチやライターを置くのはやめましょう。
- ⑩ 就寝前に消火又は電源を切りましょう。
 - 就寝中、寝返りなどで布団や衣類が接触して着火してしまうことがあります。

ご家庭のホームタンクは大丈夫ですか?

灯油漏えい事故を防ぐための3つのポイント

- 定期的な点検を怠らない!
- 給油時にその場を離れない!
- 落雪による破損に注意!

ホームタンクチェック表

| 項目 | 点検内容 | 有 | 無 |
|-------|--------------------------|---|---|
| タンク本体 | タンク外面にさびがないか | | |
| | タンクに小さな穴がないか | | |
| | 脚部にさびがないか | | |
| | ストレーナー(ろ過装置)にひび割れがないか | | |
| | 燃料ゲージは正常に作動しているか | | |
| | 脚部は基礎などに固定され緩みがないか | | |
| 接配管部 | 配管やゴムホースにさびや亀裂はないか | | |
| | 配管タンクとの接続部分に緩みや油のにじみはないか | | |
| その他 | 灯油の減りがいつもより早くないか | | |
| | 家の周りで灯油の臭いがしないか | | |

盛岡市内の1月から10月までの火災件数

| | 令和5年 | 令和4年 | 比較増減 |
|---------|------|------|------|
| 火 災 件 数 | 30件 | 25件 | 5件増 |
| 死 者 数 | 5人 | 4人 | 1 人増 |

令和5年10月中の火災2件の内訳

10月14日 中太田地内 納屋1棟、空家1棟、トイレ1棟 全焼

負傷者1名

10月18日 加賀野一丁目 共同住宅1棟 部分焼

死者1名